

『第2期オーテピア高知図書館サービス計画（案）』へのご意見に対する考え方

■意見公募期間：令和3年7月6日から令和3年8月5日まで

■提出された意見数：11件（7名）

1 計画（案）に反映するもの（3件）

意見等の概要

- ・図書館の魂ともいえる「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会）について記載してはどうか。
- ・オーテピア高知図書館の活用方法として、あまり知られていない図書や情報資料（バリアフリー図書など）を各種団体・関係機関に展示・説明するなど、県民市民に対し広く図書資源を周知することにより、オーテピア高知図書館の利用促進を図る必要がある。
- ・マンガによるサービス紹介は非常に有効だと感じる。今後も県民や関係機関への広報手段としてほしい。

2 計画（案）に既に盛り込まれているもの（6件）

意見等の概要

- ・知的障害者が本を選ぶことの難しさを感じている。漠然とした「こんな本が読みたい」といった願いに、寄り添った対応が必要である。
- ・絵本のコーナーは、知的障害のある人なども利用するので、幼児や小学生だけの居場所とならないよう、絵本のコーナーのあり方を考えてほしい。
- ・子育て応援コーナーの充実、子育て中でも気軽に利用できるよう他市町村との連携等、ますます充実発展させてほしい。
- ・全国有数の資料費や先進的なサービスを県民全体が受けるためには、オーテピア高知図書館の直接利用だけでなく、市町村立図書館を通じた間接利用が欠かせない。そのため、今後もブロック別支援担当者の配置はもちろんのこと、オーテピア高知図書館と市町村の連携モデルの好例があれば、積極的に紹介してほしい。
- ・オーテピア高知図書館が提供する市町村への支援等が、市町村立図書館での具体的な利用向上に結びついている事例がある。今後も、県下全域に目を向けた図書館サービスを続けてほしい。
- ・『高知県図書館振興計画』に基づいて設置した「高知県市町村図書館等振興協議会」の位置付けが必要である。サービスの「蛇口」となる市町村の振興がポイントとなる。

3 その他（2件）

意見等の概要

- ・計画を推進していくにあたり、今後5年間で特に注力する点やキーワードを強調するなど、文全体にメリハリがあると、県・市の考え方の理解がより進む。
- ・職員が視察の方を案内する声大きい。職員も訪問者も話し声に配慮してもらいたい。見送りの際も1階受付付近の通路いっぱい広がっており迷惑だった。「公共性」をもって行動してほしい。

計画への反映状況

P14～第3章3「社会情勢の変化や国の施策に関わる動き」に追加

「図書館利用のプライバシー保護についての社会的関心の高まり」の項目を追加し、デジタル技術の進展を踏まえ、日本図書館協会の図書館の自由委員会が示す、デジタル環境における図書館利用のプライバシー保護などについて記載

P26～第5章2-2「サービスの普及・啓発（連携・広報）」に追加

さまざまな資料・情報を各種団体・関係機関に対して紹介するとともに、団体・機関が実施するイベント等の機会に展示することで、図書館の情報資源を周知します。

P26～第5章2-2「サービスの普及・啓発（連携・広報）」を修正

図書館の活用事例を生かした分かりやすい広報を行います。

→図書館の活用事例を生かし、マンガ等を活用して分かりやす具体的にサービスをPRします。

計画の主な該当箇所

P26 第5章2-1「サービス提供の基盤となる資料・情報の充実と司書の専門性の向上」

利用者が真に求める情報を聞き出すカウンセリング能力や、利用者に寄り添った対応ができるホスピタリティの向上に努めます。

P40～第5章3-3「利用者に応じた対象別の図書館サービスの充実」－「児童サービス」

妊娠中の女性やそのご家族、赤ちゃんから小学生までの子どもがいる保護者を支援するため、「子育て応援コーナー」では子育てに関連する図書を展示するとともに、県内で行っている子育てに関するイベントの情報も提供します。

P48～第5章3-3「連携・支援及び図書館の活用」－「市町村立図書館等への支援」

- ・他の図書館が「目指す姿」としてモデルとなるような図書館サービスの実現に向けて、オーテピア高知図書館が蓄積したノウハウ等を共有するなどの必要な支援を行います。
- ・市町村立図書館等における課題解決支援サービス実施への支援を強化するため、動画等を活用した研修機会の提供と協力貸出用資料の充実を図ります。
- ・県の東部・中部・西部各ブロックの担当司書が、市町村立図書館等への巡回訪問や依頼訪問等により、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。

ご意見に対する考え方

- ・計画を冊子にする際には、読みやすさを考慮した内容とします。また、第2期サービス計画を分かりやすくPRするため、概要版やダイジェスト版の作成を検討します。
- ・視察の際は、職員が利用者の図書館利用を妨げることがないように、利用環境や動線に配慮しながら対応することを心がけます。